

合併誕生から10周年

12月1日、合併誕生から10周年を迎えたイーグルスミコーポレーション。単体の海外売上高比率が50%を超えるなか、海外展開をさらに加速し、機能性化学品分野に舵を切る方針を打ち出す。創業から合併、そして来期からは新しい5カ年中期経営計画を始動し、社名変更も実施する予定。まさに「第3のスタート」を切る住吉徹社長に話を聞いた。

「御社のこれまでを振り返って。1990年に化学品商社のスミトレーディングとして始まり、主に中

イーグルスミコーポレーション

住吉 徹 社長に聞く



国を中心とする海外ビジネスで事業基盤を築いてきた。05年になり、チャイナリスクや為替の影響を考慮して国内事業に強みを持つイーグルコーポレーションと合併することを決めた。互いに不足分を補完し、また国内メーカーの海外進出も相まって合併会社はシナジーを生むことができた。ただ、ここに来てコアの基礎化学品事業が石化業界の再編によって縮小しているため、近年は事業構

海外展開さらに加速

機能化学品が成長のカギ

「海外展開の強化と付加価値分野への参入が軸となる。当社の強みは広い海外ネットワーク、そのための三國間貿易や付加価値品の輸入販売に力を入れ、グローバル展開を加速したい。上海、ソウルの海外拠点では、日系メーカーに對して再材事業を中心とした実績を積み重ねてきた。今後は現地化を推進し、商売の幅を広げたい。直近では7月に中国・廈門に現地商社と合併会社「スマアモイ」を設立した。塗料用の樹脂販売を手掛けており、これまでの樹脂原料の販売から川中、川下展開を進めたい。またASEAN(東南アジア諸国連合)全体を絡めた海外ビジネスを目指し、東南アジアでの拠点設置も視野に入れている」

「国内事業はいかかですか。現状、塗料・インキと電子材料を同じ営業部隊が管轄しているため、来年1月にも組織変更を行い、事業を分離する。細分化することで事業スピードを上げ、効率化につなげる。またライフサイエンス分野を新規ターゲットとし、薬剤師を採り扱っており、今後は医療機器や医療用消耗品を手掛ける。新規事業でも川下分野へと向かう方針で、M&A(合併・買収)も検討しながらノウハウを培っていきたい。新しい5カ年計画でこうした構造改革を軌道に乗せ、今年見込むグループ売上高280億円を最終20年度に340億円にまで引き上げる。成長への推進力は海外子会社と機能性分野がカギを握る」

「6月に資本金を3億円に増資したことで自己資本比率は10%となっ

来期、新社名で「第3のスタート」

た。5年後には25%にまで高める。あわせてROE(株主資本利益率)を意識し利益面も重視していく。目標達成には何よりも人材が重要になる。当社は中堅の専門商社でありながら、毎年、新入社員を採用してきた。新人を育てることで先輩も育つ」という理念とともに「もっとさらなる社員が若い会社の文化を築く」と考えているからだ。合併から10年、異なる2社は融合を終え、またビジネスの形態も変わってきた。若い会社はまだまだ新規マーケティング、新規顧客の開拓が必要であり、来年からは社名も変更し、新たな気持ちでチャレンジしていく」

(聞き手 小倉賢吾)